

# 令和元年度第2回小牧市食育推進会議 会議録

---

日時：令和2年2月17日（月）午後2時00分～

場所：小牧市役所東庁舎4階本会議用控室

## ○出席者

### 【食育推進会議委員】

長島会長、中東副会長、青山委員、伊藤 純子委員、伊藤 貴子委員、倉知委員、山口委員、堀尾委員、藤岡 祥子委員、藤岡 富士江委員、大野委員、福澤委員、若山委員、兼子委員、愛野委員、宇陀委員（代理 森 正行）、小澤委員

### 【事務局】

余語課長、白木係長、中原

## ○欠席者

菱田委員、竹内委員、高橋委員、小久保委員

## ○議題

- 1 令和元年度小牧市食育推進活動の報告及び令和2年度の小牧市食育推進活動について
- 2 食品ロスの削減に向けた取り組みについて
- 3 その他

## ○配布資料

- ・令和元年度第2回小牧市食育推進会議次第
- ・令和元年度食育に関する取り組み一覧
- ・食品ロス削減 PR チラシ

## ○傍聴者

なし

## 【会議録】

(司会者)

- ・お忙しい中、令和元年度第2回小牧市食育推進会議にご出席いただき、お礼申し上げます。
- ・当会議は、会議公開である。会議開催のお知らせを事前にホームページに掲載したところ、本日の傍聴者は0名だった。
- ・小牧市地域活性化営業部農政課長の余語より、あいさつを申し上げます。

(余語課長)

- ・日頃は食育推進にご協力いただき、お礼申し上げます。
- ・近年、食品ロス削減が叫ばれている。農政課でも、宴会の際は3010運動を提唱するなど、小さなことから取り組んでいる。
- ・今回で農政課が事務局として行う食育推進会議は最後となる。組織改正に伴い、食育の業務が健康生きがい推進課に移管される。
- ・農政課で農業公園の整備を進めている。テーマは食育と環境である。食育業務は移管されるが、農政課の食育業務がゼロになるということではない。
- ・本日はさまざまな意見をいただきたいと思う。

(司会者)

- ・小牧市食育推進会議の長島会長から、あいさつをいただく。

(長島会長)

- ・食育の業務が移管されることについては、以前お聞きしていた。今後も食育に力を入れていただきたい。
- ・新聞に、幼児期の肥満が将来の生活習慣病につながるという記事があった。以前から言われていたことではあるが、最近データが蓄積されてきた。出産、子育てをする若い世代への食育が重要ではないかと思う。第3次小牧市食育推進計画にも若い世代への食育について記載があり、実際に料理教室も実施しているが、改めて重要性を理解してほしい。
- ・食育推進会議で情報共有し、それぞれの団体の活動がやりやすくなれば良いと思う。
- ・本日は、年度末ということで今年度の活動について報告いただきたい。

(司会者)

- ・議事に入る前に、委員の変更があったので報告する。
- ・小牧市歯科医師会の竹内友康委員。本日は欠席のため、名前だけの紹介とさせていただきます。
- ・以降の議事進行について、長島会長にお願いします。

(長島会長)

- ・本日の会議は、定員21名に対し17名の出席をいただき、過半数に達しているので成立している。
- ・次第にそって、進めさせていただきます。
- ・はじめに、議題(1)令和元年度小牧市食育推進活動の報告及び令和2年度の小牧市食育推進活動

についてである。今年度の食育に関する取り組みについては、事前に委員から事務局に報告されており、本日、手元に資料として配布されている。

- ・資料の説明とともに、来年度の食育に関する取り組みについても発表していただきたい。
- ・資料順に説明をお願いする。

#### (事務局)

- ・市民菜園事業として、藤島と池之内の2箇所です市民菜園を行っている。藤島市民菜園について、1世帯2区画まで貸し出し可能として、より多くの野菜等を栽培していただけるようにした。
- ・地元野菜の販売について、蔬菜研究会の方が作っている野菜を、バラ・アジサイまつり、小牧市民まつり、農業祭で販売した。
- ・今年度新しく行った取り組みとして、食育月間、食育の日である6月19日に、小牧駅にて農政課職員で食育チラシの配布を行った。
- ・昨年に引き続き、料理教室やアレルギーに関する講演会を実施した。
- ・来年度食育の業務は移管されるが、市民菜園や野菜の即売は今後も継続し、食育推進を図りたい。

#### (長島会長)

- ・続いて、青山委員から説明をお願いする。

#### (青山委員)

- ・北里小学校、三ツ渕小学校、米野小学校、陶小学校で野菜栽培体験、三ツ渕小学校で稲作の栽培体験、篠岡小学校、陶小学校で桃収穫体験を実施した。
- ・ひまわり幼稚園でサツマイモ収穫体験、小牧中学校で桃調理実習を行った。
- ・本庄小学校と篠岡小学校で大豆栽培と豆腐作り体験を行った。
- ・来年度も継続していく予定である。

#### (長島会長)

- ・続いて、伊藤純子委員から説明をお願いする。

#### (伊藤純子委員)

- ・年間計画に基づき、食育指導を行っている。
- ・教員自身も食育について学んでいる。
- ・学校における農業体験の推進について、指導者の高齢化により実施できないことも増えている。そのような状況の中で、今年度、ぶどうの栽培を始めた学校もある。
- ・学校給食の時間にコミュニケーションを図っている。
- ・毎日ホームページに給食のメニューを掲載している学校もある。
- ・入学説明会等の学校行事で、学校給食について説明し、食育活動の啓発をしている。
- ・献立コンテストを実施している。

(長島会長)

- ・続いて、伊藤貴子委員から説明をお願いします。

(伊藤貴子委員)

- ・基本的には昨年度と同じ活動である。
- ・夏休み（7月25日）に、おやこ食育教室を実施した。
- ・地区健康展を北里市民センター、東部市民センターで実施した。
- ・生涯骨太クッキングは、12月に保健センターで実施した。
- ・11月に勤労センターにて行われた歯ピカピックへ参加した。野菜の手量りを行った。
- ・いきいきこまき（農業祭）でも野菜の手量りを行った。
- ・ヘルスサポーター21として、篠岡中学校、味岡中学校で調理実習を行った。篠岡中学校では、郷土料理としてエビ芋を使った料理を作った。
- ・奇数月に、広報こまきに「生き生きレシピ」を掲載している。今年の小牧市のカレンダーに生き生きレシピを掲載している。

(長島会長)

- ・続いて、倉知委員から説明をお願いします。

(倉知委員)

- ・廃食用油の回収を小牧小学校、小木小学校、光ヶ丘小学校で月1回実施している。親御さんや近所にお住いの方にもご協力いただいている。
- ・今年度、廃食用油を提供していただいた方にポイントを配布している。ポイントを塩やエコバックと交換している。
- ・光ヶ丘小学校、小木小学校の児童と菜の花の種まき、収穫等をしている。光ヶ丘小学校の児童に、修学旅行の際に菜の花からとれた油を持って行ってもらった。
- ・4月の第2土曜日に、味岡児童館西側にて、菜の花フェスティバルを実施する。
- ・エコライフチェックシートを小学4、5年生、中学1、2年生を対象に、夏休みに実施してもらった。結果は環境フェアやホームページで知らせている。

(長島会長)

- ・続いて、山口委員から説明をお願いします。

(山口委員)

- ・小牧市に幼稚園が10園あるが、美鳥第2幼稚園での取り組みについてお話しする。
- ・じゃがいもの親芋植えを2月、収穫を6月に実施した。
- ・たまねぎの苗植えを11月、収穫を5月に実施した。
- ・さつま芋の苗植えを5月、収穫を10月に実施した。
- ・だいこんの種蒔きを9月、収穫を12月に実施した。
- ・人参の種蒔きを9月、収穫を12月に実施した。

- ・年長のお泊り保育の際に、夏野菜の収穫を実施した。
- ・以前は手づくりパーティを1月に実施していたが、衛生面から無くした。さみしいとの声もある。
- ・野菜は収穫したら、葉も含めて全園児に持ち帰ってもらう。野菜好きな子が増えると良いと思う。

(長島会長)

- ・園で調理できると良いと思うが、できないのは残念である。
- ・続いて、堀尾委員から説明をお願いします。

(堀尾委員)

- ・料理教室について、中部大学の学生が考案したレシピを使って行った。
- ・1回目は、8月31日にリハーサル、9月14日に市民向けに本番を行った。リハーサルには学生9名に参加してもらい、飾り巻き寿司(さくらんぼ)を作った。
- ・2回目は、1月11日にリハーサル、1月25日に本番を行った。リハーサルで学生に生芋こんにゃく作りを体験してもらった。
- ・飾り巻き寿司教室を実施した。
- ・農業祭で飾り巻き寿司の展示を行った。
- ・来年度の市民講座の開催については未定だが、飾り巻き寿司や生芋こんにゃく作りを実施していきたい。

(長島会長)

- ・続いて、藤岡祥子委員から説明をお願いします。

(藤岡祥子委員)

- ・いきいきこまき体験ブースでは、学校給食で魚の残菜が多いことから、魚釣り、給食で人気の魚を使ったレシピの配布、かつおぶしを削る体験を実施した。
- ・給食だよりも、旬の野菜や、野菜を使った朝食レシピを掲載した。
- ・栄養教諭6名で市内小中学校をそれぞれ4校ずつくらい担当し、食に関する指導を行っている。
- ・地場産物について、小牧市で生産された里芋、大根、ねぎ、みかん等を提供している。
- ・学校給食における地場産物や郷土料理の活用について、2月3日におとしこしを提供した。
- ・その他、親子料理教室を実施している。
- ・小牧の特産品として、エビ芋や名古屋コーチンがあるが、値段が高いこと、14,500人分の量が確保できないことから、提供ができていない。

(長島会長)

- ・続いて、藤岡富士江委員から説明をお願いします。

(藤岡富士江委員)

- ・親子防災クッキングを実施した。被災時に簡単にできるポリ袋調理を行った。
- ・ふらっとみなみでコープ健康クッキングを実施した。

- ・ジュニアセミナーを実施した。来年度も実施する予定である。
- ・生活展にて、食育活動の紹介と食育ゲームを行った。
- ・コープあいち「小牧のつどい」、25以上のメーカーや生産者との試食交流会に参加した。
- ・ふらっとみなみで年4回、こどもクッキングを行った。
- ・昨年から、離乳食講座を北里児童館、小牧南児童館で行っている。
- ・コープあいちと小牧市が子育て協定を結んだので、今後小牧市との活動が増えると思われる。
- ・親子向けに飾り巻き寿司教室を実施した。
- ・講座の際に、小牧市が食育について取り組んでいることを知っているか聞くと、知らないという方がほとんどである。子育て世代への食育を手厚くすると、先を見据えたときに成果が出てくるのではないか。

(長島会長)

- ・続いて、大野委員から説明をお願いします。

(大野委員)

- ・保護者に子どもが給食を食べている様子を見てもらった。作ることができる食数に限りがあり、保護者に食べてもらえないことが課題である。
- ・クッキングマニュアルに則り、安全衛生に注意しながらクッキングを行っている。一色保育園ではピーマンやなすを子どもの前で切り、ホットプレートで焼いて味わっている。
- ・さつまいもが採れた時は、調理方法を家庭で考えることで、調理する過程について関心を持ってもらうことができた。実際に調理したものを食べることで、収穫の喜びや、みんなで食べる楽しさを味わうことができた。
- ・園長のグループで、もぐもぐ通信という食育に関する配布物を発行し、食育の大切さを伝えている。

(長島会長)

- ・続いて、福澤委員から説明をお願いします。

(福澤委員)

- ・パパママ教室について、働いている方にも来ていただけるように、日曜日に開催している。
- ・離乳食教室、初期ごっくん教室・後期かみかみ教室を毎月実施している。
- ・歯みがき教室を月初めに実施している。エプロンシアターなどを行っている。
- ・保健師、歯科衛生士によるヤング健診の結果説明を行った。
- ・家族の健康を考える食生活講座を行っているが、参加希望者が少ないことが課題である。
- ・生活習慣病予防相談を毎週月曜日に実施している。保健師と栄養士で対応している。
- ・健康日本21こまき計画推進部会について、こまきヘルシーメニューは申込み店舗数が少ないことが課題である。第7期こまきヘルシーメニューは1店舗で提供していたが、お店の都合により、昨年の12月で終了となってしまった。アンケートをまとめ、外食産業への取り組みを再検討している。
- ・働き世代の生活習慣病予防の改善について、効果的なアプローチ方法を部会の中で話し合っていく。
- ・子どもの朝食欠食改善について、妊娠している方へのアプローチ方法を検討している。

・新規の取り組みとして、高齢者の低栄養予防の検討がある。宅配食のリーフレットを配布するなどしているが、成果がわかりにくいため、方策を検討していく。

(長島会長)

・続いて、若山委員から説明をお願いします。

(若山委員)

・廃食用油の回収について、来月（3月）も回収があるので、実績報告はまだできない。ポイントについて、100ml で1ポイントを発行している。

・菜の花プロジェクトについて、今年度は菜の花の成長が良かった。

・エコライフチェックシートについて、家庭でできるエネルギーの節約ができたかどうか問うものである。「ご飯やおかずを残さず食べた」という項目について、実行率は小中学校あわせて85%だった。昨年度より1%下がっていた。

(長島会長)

・続いて、兼子委員から説明をお願いします。

(兼子委員)

・児童、生徒の食育指導は、給食や学級での指導、給食委員会の活動、家庭科の授業や栄養教諭、養護教諭の指導により進めている。食習慣の改善への意識、マナーやコミュニケーション、食べ物や生産者への感謝の気持ちを学んでいる。

・保護者についても、給食だよりや献立表などを通じて食育について伝えている。

(長島会長)

・続いて、愛野委員から説明をお願いします。

(愛野委員)

・給食残渣のリサイクル処理について、主食は廃棄、副食は肥料としてリサイクルしている。

・牛乳について、以前は余ったものを牛乳屋に回収してもらっていたが、平成30年度から市の予算で廃棄することとなった。子どもたちには、飲み残しを減らそうということを周知している。

(長島会長)

・続いて、小澤委員から説明をお願いします。

(小澤委員)

・あいち食育いきいきプラン2020は、来年度を目標にたてられた計画である。目標値に達するのが難しいものもあるが、なんとか進めているところである。

・食育推進ボランティアについて、高齢で辞められる方が増えている。どのようにボランティアを増やすかが課題である。

・食育推進全国大会が、令和2年6月27日、28日に開催される。ブース参加の募集は終了しているが、ぜひ立ち寄ってほしい。

(長島会長)

・続いて、生涯学習課の説明をお願いします。

(生涯学習課)

・愛知文教大学と連携し、夏休み親子食講座、小牧の伝統食講座を行った。  
・来年度についても、調整しているところである。

(長島会長)

・本日欠席の方の説明をお願いします。

(事務局)

・(歯科医師会) 歯の健康センター(歯ピカピック)を開催した。  
・学校、保育園、幼稚園での歯科検診、保健指導、健康教育を行った。  
・よい歯の表彰『健口大賞』を実施した。  
・(愛知県食品衛生協会小牧支部) 食品営業者の自主管理体制づくりのための再講習会を行った。  
・食中毒防止の広報、量販店店頭での啓発活動を行った。  
・食育推進協力店の推進講習会の開催、パンフレット配布を行った。  
・食品営業関係従事者の検便・食品の細菌検査を実施している。  
・食品営業許可所得への養成講習会を実施した。  
・行政・指導員の食品営業施設への定期巡回指導を行った。  
・食品衛生指導員への大手工場見学を実施した。  
・食品衛生指導員への行政の専門講師による勉強会を開催した。

(長島会長)

・これで、議題(1)の令和元年度小牧市食育推進活動の報告及び来年度の小牧市食育推進活動については終了する。  
・次に、議題(2)食品ロスの削減に向けた取り組みについて、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

・第3次小牧市食育推進計画で新たに追加された取り組みとして、「野菜摂取量を増やす取組の推進」、「食物アレルギーへの理解の向上」、「食品ロス削減の普及啓発」の3つがある。  
・中でも、食品ロスの削減について、令和元年10月1日に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、食品ロスの削減への動きがみられている。  
・小牧市では、資料の最後にある食品ロス削減に関するチラシを作成してイベント時に配布し、食品ロス削減の普及啓発を行っている。  
・委員の皆様からも、食品ロスの削減に向けてどのような取り組みを行っているか、今後どのような



取り組みが必要か、意見をいただきたい。

(長島会長)

- ・先ほどの報告の中では、小中学校での給食の残菜や、エコライフチェックシートなどが食品ロスの問題につながる。他に食品ロスに関する取り組みがあれば、報告をお願いする。
- ・エコライフチェックシートについて、先ほど挙げた項目（ご飯やおかずを残さず食べた）だけが食品ロスに関するものか。

(若山委員)

- ・そうである。

(長島会長)

- ・1%減っているとのことだったが。

(若山委員)

- ・そうである。小学生は86%から85%に、中学生は85%が84%に下がっている。
- ・今年度から、小中学校の各クラスに結果を記載したポスターを掲示してもらった。
- ・夏休み中の7日間を調査対象としているので、その期間だけ実施したという児童・生徒もいる可能性がある。普段から実施してほしいということは周知し、意識させている。

(長島会長)

- ・残菜ゼロへの取り組みについて、小中学校で行っているか。

(伊藤純子委員)

- ・全学校で取り組んでいるかはわからないが、小学校よりも中学校の方が、残菜が少ないと思われる。

(長島会長)

- ・実際にどのくらいの残菜があるのか、どのようなものが多いのか。また、季節によって増えるものがあるのか。

(藤岡祥子委員)

- ・新学期、小学生が中学生に上がる時期は、中学生に必要な栄養素分の給食を食べられない子が多い。また、暑い時期になると夏バテで食べられない子も増える。丼物を提供するなどして、ご飯を食べやすくして、子どもたちの体力がつくように、残菜が増えないようにしている。
- ・給食は、1人ひとりが充足する量を出さなければならないので、食品ロスといわれると耳が痛い。
- ・食育指導では、生産者の気持ちや栄養について話し、できるだけ食べてほしいということは伝えていますが、無理やり食べさせることもできないため、難しい。

(長島会長)

- ・事務局では、食品ロスに対してチラシの配布以外で取り組みはあるか。

(事務局)

- ・はじめの一步としてチラシを作成して、配布した。
- ・宴会では、必ずはじめに 3010 運動を提唱するようにしている。
- ・毎朝のご飯を食べ切るなど、小さなことからコツコツ実施することが大切であると思う。

(長島会長)

- ・チラシが一度でも目に入っていれば、意識を持つことができるかもしれない。
- ・どのくらいの枚数をイベントで配布したか。

(事務局)

- ・バラ・アジサイまつり、市民まつり、いきいきこまき、料理教室等で配布した。

(長島会長)

- ・どのくらいの市民に渡っているのか。もし少ないのであれば、広報などにはさむことはできないのか。

(事務局)

- ・ホームページに掲載することもできる。
- ・今年度は、小牧駅で職員がチラシを配布した。

(長島会長)

- ・先ほど、若い世代が、小牧市が食育に関する活動をしていることを知らないという話があった。

(藤岡富士江委員)

- ・献立表に食育に関することが書いてあるが、あまり興味を持っていないと思う。
- ・チラシに記載されている、食品ロスの 632 万トンは家庭から捨てられているものが多いと思う。
- ・チラシについて、具体的に何をしたら良いのかあまり書かれていない。全部食べ切るという前に、作りすぎ、買いすぎという問題もあると思う。賞味期限が切れて捨てた物の値段の合計を出してみると、節約のため、作りすぎ、買いすぎが減るのではないか。「こんなことをしていませんか？」というようなヒントを与えて、身近にできることを伝えると良いと思う。

(長島会長)

- ・良い意見だと思う。値段に換算するのはわかりやすい。

(事務局)

- ・貴重な意見である。

(藤岡富士江委員)

- ・お母さんは、身近で、すぐに使える情報を求めている。
- ・今のお母さんたちは、情報元がネットである。講座で、保健センターのパパママ教室や、離乳食教室に参加したかたずねると、5分の1くらいが手を挙げる。大半は、友人やネットから情報を得ているようである。

(長島会長)

- ・SNS で情報は全部出ているということなのか。

(藤岡富士江委員)

- ・SNS の情報は偏っている。エビデンスのある情報かわからないまま使っているかもしれない。

(長島会長)

- ・その中に、食品ロスに発展するような情報はないのか。

(藤岡富士江委員)

- ・あまりないように思われる。食品ロスというとスケールが大きいけど、まだ食べられるのに捨ててしまったなどの経験は誰にでもあると思う。

(長島会長)

- ・チラシに、今回話のあった内容を付け加えてもらえると良い。

(事務局)

- ・検討する。
- ・中東副会長から意見はあるか。

(中東副会長)

- ・80 歳すぎの両親がいる。ご飯を炊きすぎたとき、すぐに小分けして冷凍すれば、美味しく食べることができるが、母親はそれを知らず、炊いた分をすべて食べなければいけないとってしまう。きちんとした保存の仕方をすれば、おいしく食べられるので、高齢者にそのようなことを伝えることも必要である。
- ・先ほど、給食でエビ芋の提供が難しいという話があったが。

(藤岡祥子委員)

- ・エビ芋は作っている農家が少なく、高価であることから、給食では里芋を使っている。企業と相談して、小牧の里芋コロケとして出している。

(中東副会長)

- ・エビ芋は、親芋を使うのか。

(藤岡祥子委員)

- ・使うとしたら、子芋か孫芋である。

(中東副会長)

- ・以前、エビ芋の親芋を使ったことがある。子芋は値段が高いが、親芋であれば少し安いのではないか。あまり出回っていないのか。

(事務局)

- ・エビ芋を生産している団体として、エビ芋研究会や野菜研究会があるが、メンバーが少なくなっており、作らない人も増えている。14,500人分を用意するのは難しいかもしれない。
- ・里芋はぬるっとして、エビ芋はほくほくしている。高齢化もあり、エビ芋の生産者は少ない。

(青山委員)

- ・農協で会員の募集はかけているが、なかなか増えない。
- ・農協のイベントでも販売しているが、さらに給食に提供するとなると難しい。親芋は、目方はあるが、14,500人分用意できるかはわからない。1日に収穫できる量が少なく、作っている農家数も少ないので、難しいのではないか。

(中東副会長)

- ・エビ芋が貴重なものになっていたとは知らなかった。

(長島会長)

- ・他に意見はあるか。

(事務局)

- ・給食の牛乳について、すべて市の予算で廃棄しているのか。

(愛野委員)

- ・1回手をつけられた牛乳は、産業廃棄物として処理しなければならない。

(山口委員)

- ・幼稚園では余った牛乳を冷蔵庫で保管することもある。

(愛野委員)

- ・学校では、牛乳をたくさん飲める子が余った牛乳を飲んでいるクラスもある。

(倉知委員)

- ・小牧市では、ミルメークは提供しているか。

(愛野委員)

- ・月に1回ほど提供している。

(藤岡祥子委員)

- ・冬場だと月に2回出すこともある。

(長島会長)

- ・ミルメークがある日は、牛乳の飲み残しは減るのか。

(藤岡祥子委員)

- ・子どもたちは大はしゃぎで、牛乳をおかわりする。

(倉知委員)

- ・ミルメークは、量が少し多いように感じる。

(藤岡祥子委員)

- ・学校給食用に作られたものなので、適切な量だと思う。

(倉知委員)

- ・牛乳は、1人200ccか。

(藤岡祥子委員)

- ・200ccである。

(倉知委員)

- ・小中学校ともに200ccか。

(愛野委員)

- ・そうである。

(倉知委員)

- ・小学1年生は飲むのが大変である。

(藤岡祥子委員)

- ・中学生向けの指導として、SDGsについて勉強している。その項目の中に、食品ロスに関することが出てくる。家庭のゴミ以外にも、スーパーなどの業者から出る食品ロスの話題もある。
- ・スーパーでは、奥の方から、賞味期限の長い食品を手にとってしまうことが多い。他の市町の取り組みでは、すぐに食べるものであれば、前の方から取ってほしいということを伝えるポップをスーパーなどに配っているところがあるようだ。小牧市内のスーパーでも設置してみてもどうか。

(事務局)

- ・貴重な意見である。

(長島会長)

- ・たしかに、つい奥のものをとってしまう。ちょっとしたことではあるが、視覚的に伝えることは大切である。農政課として働きかけることができる範疇であるのかはわからないが、実践できると良い。
- ・これで議題（２）食品ロスの削減に向けた取り組みについては終了する。
- ・最後に「その他」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

- ・令和２年３月で委員の任期が終了する。藤岡富士江委員、小久保委員には一般公募委員としてご活躍いただき、お礼申し上げます。次の委員については、３月に募集を開始する予定である。
- ・以上をもって、令和元年度第２回小牧市食育推進会議を終了する。